

第2次甲賀市地域福祉活動計画ダイジェスト版

地域で共に生きる

— ご近所福祉でまちづくり —

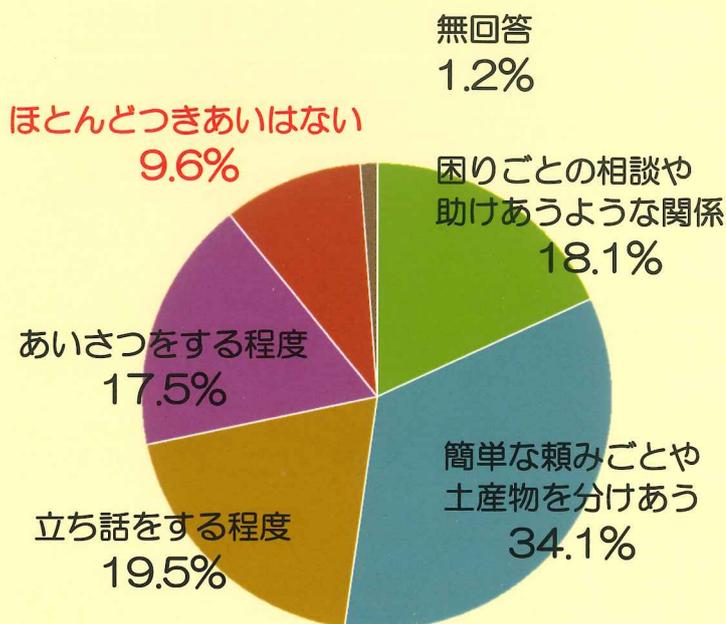
甲賀市地域福祉活動計画策定委員会
社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会

甲賀市の「ご近所福祉」は、どうなっているの？

暮らしの様子と住民の思い

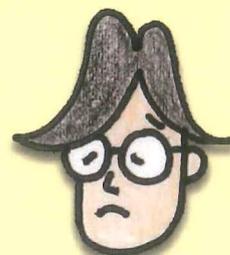
「甲賀市地域福祉に関する市民アンケート調査」(1,367人/3,000人)
「地域福祉関係団体ヒアリング調査」(85団体) より抜粋

ご近所さんとの おつきあいの程度は？



子どもたちは遠くで
暮らしているし

ご近所さんには
頼みづらくて



区入りされていない方は
わからない

ご近所さんとのおつきあいは薄れてきています。住民同士の生活が見えにくくなっていくことで、孤立化が進んだり、生活の困りごとが潜在化してしまいます。誰もが気兼ねなく参加できる見守り・支えあいの地域づくりが大切です。

10年間で、「困りごとの相談や助けあうような関係」や「簡単な頼みごとや土産物を分けあう」ようなつきあいは、12.0%減少しています。

3つのテーマ

さまざまなアンケートや聞き取り調査の分析に基づき、現在の甲賀市における地域福祉の課題を、3つのテーマにまとめました。

① 持続可能な見守り支えあい活動の充実

社会的孤立をなくす住民同士のあたたかいつながりづくりを次世代に

② 福祉関係機関・団体の連携による地域への支援

暮らしの困りごとや地域の課題解決のために福祉専門職の参加を

③ 暮らしの課題を解決する場、拠点、体制づくり

困っている人を放っておかない、みんながつながって一緒に解決を目指す

困りごとの相談をする人は？

相談相手は日ごろからおつきあいのある身近な方に集中します。ひとり暮らしの高齢者や男性では相談する人がいない割合が高く、より身近な相談場所となる居場所が求められていると考えられます。

ひとり暮らしの方では、「相談する人がいない」方が6.5%でした。

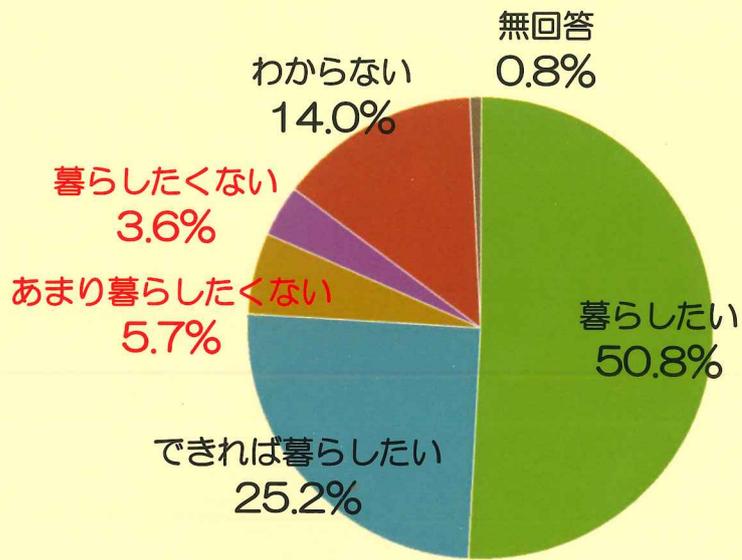


| | |
|---------------------|-------|
| 家族・親戚 | 83.9% |
| 友人・知人・職場の同僚 | 44.2% |
| 近所の人 | 14.6% |
| 区・自治会等の地域の役員 | 4.1% |
| 民生委員児童委員・主任児童委員 | 4.2% |
| 医師・保健師・ホームヘルパー等の専門職 | 7.8% |
| 行政や社会福祉協議会の職員 | 2.9% |
| 相談する人がいない | 2.8% |
| その他 | 2.2% |
| 無回答 | 0.7% |

※複数回答



ふだんどう過ごされているのかしら

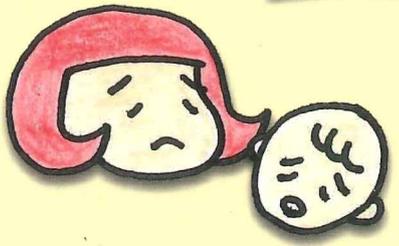


ずっと地域で暮らしたいですか？

若い世代ほど、「地域で暮らしたい」が減少していることから、世代により地域への考え方の違いがうかがえます。

働き盛りの世代は地域活動への参加が少ない状況にあり、地域へのかかわりが減ってしまうことで地域への関心も少なくなると考えられます。

40歳未満では、
 あまり暮らしたくない 8.0%
 暮らしたくない 6.8%



何か起こったらどうしよう

どうやって避難したらよいの？

空き家が増えてきた

見守り・支えあい・発見・解決 プロジェクト

見守り活動を市内に広げていき、見守りから支えあいへとつながるよう、見守り・支えあいのネットワークづくりを進めていきましょう！

- ①見守り訪問・見守り会議、生活支援ボランティアなど
- ②見守り隊や生活支援ボランティアの交流会・研修会、ボランティア養成講座の開催

見守り・支えあいがつながる！



救急医療情報キット 「命のボタン」

配布の方法は、地区ごとに異なりますが、それぞれの地区の民生委員児童委員等が主体となって、健康福祉会や区・町内会との協働により見守りネットワーク活動と連携しながら実施しています。

一声ふれあい運動・友愛訪問

「一声ふれあい運動」は、赤十字奉仕団員がひとり暮らしのお年寄りやお年寄りのみの世帯などに訪問し、声かけと交流を行っています。

「友愛訪問」は、ゆうゆう甲賀クラブ会員の見守り活動です。寝たきりなどのお年寄りのお宅を訪問し、話し相手になるなどしています。

生活支援ボランティア

ちょっとした暮らしの困りごとを、一緒に解決できるように取り組む「生活支援ボランティア」

お互い様の気持ちで、“できるときに”、“できることを”、“できる人が”をモットーに、コミュニケーションや地域での関係づくりを大切に活動を進めます。

気軽に頼める



見守り訪問・見守り会議

それぞれの地区で見守り活動に取り組まれている見守り隊や、さまざまなボランティア、福祉団体、民生委員児童委員などが連携し、協力しあって気になる方を見守っています。

こうした見守りネットワークの取り組みは、健康福祉会や区・町内会などが中心となり、定期的な見守り会議を開催して情報交換や困りごとを相談しあうことでより効果的な取り組みとなります。

頼りにされる



地域の居場所(たまり場)づくり プロジェクト

地域にある居場所(たまり場)の実態を把握し、さまざまな人たちの特技や経験が活かされる居場所づくりや居場所のつながりづくりを進めていきましょう！

- ①ふれあいいきいきサロンやコミュニティカフェ、子ども食堂など
- ②スタッフ交流会・研修会の開催

居場所がつながる！

ふれあいいきいきサロン

お年寄りや障がいのある人、子どもと子育て中の保護者、ボランティアなど地域のさまざまな住民の出会いと交流の場であり、“居場所づくり”、“仲間づくり”、“生きがいづくり”の取り組みとして、各地区の集会所などの身近な場所で開催しています。

また、子育て中の保護者や障がいのある人、介護者などの当事者によるサロンと、各地区の福祉推進員やボランティアなどによるサロンがあります。



自分らしく
いられる居場所が
見つかる



コミュニティカフェ

誰でも参加でき、好きなときに来て・好きなときに帰り、参加者とスタッフの垣根がなく、自分らしくいられる自由な場です。

子ども食堂

ごはんを一緒に食べたり、遊んだり、勉強したり、地域みんなで見守り、育てていく子どもたちが安心できる居場所です。



ひとり
ぼっち
じゃない





困りごとや地域の課題を丸ごと受け止められる仕組みに

見守り・支えあいのネットワークや、居場所づくりなどの住民主体のご近所福祉活動に、子ども・子育て・障がい・高齢・介護・生活困窮・地域福祉などのさまざまな福祉の専門職も参加し、活動からつながった暮らしの困りごとや地域の課題を一緒に解決を進めていきます。



ふだんから助けあえる

仲間ができる

地域で共に生きる - ご近所福祉でまちづくり -



ふ・く・しネットワークプロジェクト

～ ふ（福祉関係者による）・く（暮らしの課題を解決する）・し（しくみ）～

さまざまな専門性をもつ福祉関係者同士が連携し、地域の住民主体の見守り・支えあいのネットワーク活動との協働で暮らしの困りごとの解決を目指せる仕組みづくりを進めていきましょう！

- ①専門職同士の情報交換と、多職種連携の仕組みづくり
- ②見守り・支えあいのネットワーク活動とつながる場づくり

相談がつながる！

災害福祉ネットワーク会議

「災害」と「福祉」をテーマに、地域の防災・減災力の向上を目指してネットワークづくりを行います。

災害福祉ネットワーク会議では、テーマに応じたゲストスピーカーなどを招きながら、住民・ボランティアと関係団体・機関などのつながりが広がり、平常時から具体的な協働の仕組みとなるよう顔の見える関係づくりを進めていきます。



災害にも強い地域づくりプロジェクト

地域で災害が発生した時に、誰一人孤立することのないよう、ふだんから誰かに見守られ、いざという時には手をさしのべられるたすけあいのネットワークづくりから、“災害にも強い地域づくり”を進めていきましょう！

- ①平常時からの住民や福祉関係団体、機関等とのネットワーク
- ②災害時の被災者支援活動を円滑に行う仕組みづくり

防災がつながる！

4つのプロジェクト

3つのテーマに対する具体的な取り組みとして、水口・土山・甲賀・甲南・信楽の各地域の特性に応じた課題解決を目指して、4つのプロジェクトをきめ細やかに進めていきましょう！

プロジェクトを進める 各地域のご近所福祉推進協議会

4つのプロジェクトを進めるために、身近なところでご近所福祉活動に取り組みされている住民・ボランティア・福祉団体の代表者などがつながり、日ごろの活動の情報交換や活動上の困りごとの解決や、地域づくりの方向性を話し合う場として、各地域に「ご近所福祉推進協議会」を設置します。



さらに、甲賀市全体では「甲賀市ご近所福祉推進委員会」を設置して、各地域のご近所福祉推進協議会の実践交流・情報交換の場や、計画を進めていきます。

いざという時も安心



常設型の災害ボランティアセンターに

災害時の被災者支援活動を円滑に行うため、災害ボランティアセンターの常設設置を進めていきます。

災害時のボランティア活動者の養成や、市内外の各種団体・機関等との連携、防災訓練などに取り組んでいきます。

また、全国各地で災害が発生した際の情報収集や、支援活動などの情報提供も行っていきます。

地域福祉って？

甲賀市で暮らしているすべての人が、住みなれた地域でより安全に安心して暮らしつづけることができるように、住民の暮らしの困りごとや地域の課題解決をめざして、住民やボランティア、福祉関係機関・団体、行政等が協力しあって取り組むご近所福祉のまちづくりです。

第2次甲賀市地域福祉活動計画

「第2次甲賀市地域福祉活動計画」は、住民やボランティア、福祉関係機関・団体、行政等とともに解決を目指すことにより、誰もがより安全に安心して暮らせる地域づくりを主体的に進めるための行動計画です。

《計画期間》 平成29年度（2017年度）～平成32年度（2020年度）

基本理念・基本方針

この計画では、関係するすべての方々の参加と協働を進め、住民が互いの違いを認めあい、命や人権を大切に、対等な立場で見守り支えあう「誰もが住み慣れた地域の中で共に生きる」ことを大切にしたご近所福祉のまちの実現を目的としています。

《基本理念》 地域で共に生きる ～ご近所福祉でまちづくり～

《基本方針》 ① 住民が主役の福祉のまちづくり

② 専門機関・団体が連携を進める仕組みづくり

③ 住民のくらしの課題を解決するための体制づくり

地域で共に生きる —ご近所福祉でまちづくり—

（第2次甲賀市地域福祉活動計画ダイジェスト版）

平成29年（2017年）7月

甲賀市地域福祉活動計画策定委員会・社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会

〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口 5609 番地（水口社会福祉センター内）

TEL 0748-65-6370 / FAX 0748-63-4823

Mail info@kokashakyo.com

URL www.kokashakyo.sakura.ne.jp/

甲賀市地域福祉キャラクター
ふくろうのしいちゃん

